

日本老年医学会 認知症対策小委員会

鳥羽研二（委員長）、羽生春夫（副委員長） 大田秀隆 神崎恒一 櫻井 孝
武田章敬 武地 一

1. 認知症医療介護推進会議を通して、2018年2月18日に加藤厚労大臣にオレンジプランの加速、改善のための提言がなされたことが了承された。
2. オレンジプランの加速、改善のための提言をいかした老年医学会5カ年計画のなかで、認知症に関する内容が討議された
 - 1) IoT Robbot は引き続き年次総会でシンポジウムを通して発展させる
 - 2) 老年医学会専門医にサポート医が少ない現状から、年次学術集会開催にあわせて、サポート医師研修会を行い、サポート医師研修のなかで、診断、治療等専門医の知識技量で既習となっている分野を省略したカリキュラムを検討すべきであるとの認識で一致した。

このため、老人保健事業のなかのサポート医のありかた検討事業（武田章敬委員が班長）で研究検討していただくこととなった。

なお、認知症学会、老年精神医学会などの専門医も同様な扱いができるか関連学会と情報交換、意見の一致を得るよう、認知症医療介護推進会議で日本医師会の意向をふまえ意見交換することが提案された。
 - 3) 認知症の前臨床、MCI などの情報登録システム（レジストリ）の全国統一について議論が交わされ、レジストリの利用に関して、生活習慣病、生活習慣の介入研究は、老年医学会が主体となって、レジストリと協力協定を結ぶ計画が了承された。



III 認知症への効果的な早期介入と社会的施策の推進

2018	2019	2020	2021	2022	提携組織案
<p>生活習慣病認知症情報蒐集</p> <p>認知症予防への貢献 オレジンレジス トリ協力協定締結</p>	<p>メタアナリシス 介入研究準備</p>	<p>ガイドライン 介入研究開始</p>	<p>認知症の予防戦略</p>	<p>認知症医療介護推進会議 当事者ワーキング 認知症の人と家族の会 大分県 愛知県 大府市 神戸市</p>	<p>日本糖尿病学会 日本高血圧学会 日本肥満学会 国立長寿医療研究センター</p>
<p>Social Inclusion 情報蒐集</p> <p>すべての老年病 専門医は、認知 症サポート医に</p>	<p>EUGMS AGSと連携</p>		<p>モデル自治体の 具備すべき条件 の提案</p>	<p>認知症医療介護推進会議 当事者ワーキング 日本認知症ケア学会 日本生体医工学会 日本リハビリテーション医学 学会 国立長寿ロボットセンター</p>	<p>大分県 愛知県 大府市</p>
<p>老年医学領域に おける先端技術 に関する継続的 シンポジウムを 学術集会で開催</p>			<p>課題の整理</p>	<p>人と先端技術の 融合、住み分け の基本的提案</p>	<p>認知症医療介護推進会議 当事者ワーキング 日本認知症ケア学会 日本生体医工学会 日本リハビリテーション医学 学会 国立長寿ロボットセンター</p>
<p>IoT Robot AI技術 の推進</p>			<p>課題の整理</p>	<p>人と先端技術の 融合、住み分け の基本的提案</p>	<p>認知症医療介護推進会議 当事者ワーキング 日本認知症ケア学会 日本生体医工学会 日本リハビリテーション医学 学会 国立長寿ロボットセンター</p>



「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」

5か年計画策定の背景と目的

最長寿国となった我が国において、高齢者医療の様々な課題とともに、国民皆保険の危機、貧困高齢者の激増など多くの複雑な社会的課題が提示されており、その情勢の変化も激しい。

日本老年医学会として具体的にどのような対応をすべきか、長期的視野を持ちつつ、直近5年間に絞り込み「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」を策定した。

一般社団法人 日本老年医学会

理事長 楽木宏実

副理事長 荒井秀典、秋下雅弘

ワーキンググループ

代表 荒井秀典

委員 会田薫子、飯島勝矢、江頭正人、海老原覚、鈴木隆雄、武地 一



「健康長寿達成を支える老年医学推進5か年計画」

I 老年医学・高齢者医療の普及・啓発

- 1) 豊かな人生の最終段階を実現するための医療とケアの推進
- 2) 老年医学の診療・研究・教育の拠点形成及びそのための人材育成
- 3) 老年医学に関するガイドライン作成及び分野横断的な他学会・組織との連携強化
- 4) 老年医学領域での国際的リーダーシップの強化

II フレイル予防・対策による健康長寿の達成

- 1) フレイル・自立介護支援に関するエビデンス構築とガイドライン整備
- 2) 実臨床へのフレイル概念の普及
- 3) フレイル予防・対策の実践

III 認知症への効果的な早期介入と社会的施策の推進

- 1) 認知症予防に関する取り組みへの貢献
- 2) 認知症に対する社会全体の理解を深め、認知症の人や家族の社会参加への貢献
- 3) ICT・IoT・ロボット技術・AIなどを用いた認知症支援の研究推進

IV 高齢者の定義に関する研究の推進と国民的議論の喚起

- 1) 高齢者の定義に関する国民との対話の活性化
- 2) 内閣府と連携して国民へのアンケート調査の実施

V 基礎老化研究の育成・支援

- 1) 基礎老化研究発展のため各研究機関との情報交流の場の設置
- 2) 日本基礎老化学会との連携強化
- 3) 研究領域の拡大のためのロビー活動